下水道整備に80億円

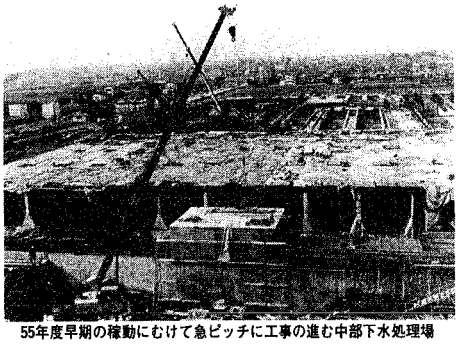
55年度早期の稼動にむけて 中部処理場の施設完成へ

生活環境

生活環境整備では、三百八十二億四千八百万円という巨額の予算を計上しました。この額は市全体の予算の二五・三㌫を占め、前年度に比べて二九・八㌫増となっています。特に新年度は、中部下水処理場の処理開始にむけて、公共下水道整備に八十億円（前年度六十億円）という巨費を投入し、施設の整備をします。

中部下水処理場を昭和五十五年度早々に処理運転開始させるため、これに必要な施設は原則として五十六年度中に完成させます。

また、流域下水道新潟処理場（東部）も五十五年度中に一部処理開始が見込まれるため、中部および流域下水道の運転開始に対応して、関連区域の施設整備や管きょの築造などに重点を置いていきます。


55年度早期の稼動にむけて急ピッチに工事の進む中部下水処理場

中部下水処理場の建設は汚泥処理棟、水処理施設建設などを今年度に引き続き行い、さらに新年度は消毒設備、汚泥処理設備などを建設します。

また、中部処理区では、万代、白山排水区の処理開始のための幹線および枝線管きょの整備、万代ポンプ場の汚水ポンプの設置などと流域関連では、山の下、石山、新幹線車両基地の処理開始のための汚水管線や枝線の整備などを行います。

都市排水応急対策としては、今年度に引き続き坂井輪、鳥屋野、木戸地区などと十七か所の排水路の改修および下水路築造工事を行います。また、排水路の改良として、新たに鐙、内野一番町排水路など十四か所（継続分を含めると二十四か所）を行う予定です。

私設排水路の改良費助成は、新年度から開発等で造られた浸透池（溜池）改良工事についても対象とし、基準工事費の二分の一を助成します。

住宅 西新潟に藤山団地建設

住宅の建設については、新石山団地に七階建て（一部五階建て）一棟八十戸、西新潟に藤山団地（二か年継続で五十五年八月入居予定）四階建て一棟と三階建て二棟、合計五十四戸、また、住宅改良事業として中山団地に五階建て二棟九十戸を建設します。

舗装率は五四・五㌫に 五六・八㌔を道路舗装

市民から要望の多い道路舗装は、八億二千万円を計上し延長約五六・八㌔を市単独で実施。舗装率は昭和五四年度末で五四・五㌫（市道延長比）となる見込みです。

道路改良事業では、前年度の約八㌫増の六億八千七百万円を投入し、平島・出島線の用地買収、文教地区である五十嵐地区の南北を結ぶ五十嵐幹線二号線（延長〇・二九㌔）や女池小瀧ノ木線外二十七路線延長約八・一八㌔の改良工事、用地買収などを行います。

道路排水側溝事業では、U型側溝工事約二・四㌔、L型側溝工事約一・二㌔を行います。

市道舗装など寄附金を軽減

また、新年度も今年度に引き続き、市道舗装、側溝整備にかかる寄附金の軽減を図り、舗装は一〇㌫（今年度一五㌫から一〇㌫）に、側溝整備は七㌫から五㌫（今年度一〇㌫から七㌫）にそれぞれ引き下げ、住民負担を軽くする予定です。

清掃施設整備に五億円計上

処理施設からの公害の未然防止という面から、また処理能力のアップを図るため、各清掃施設の改良、整備を行います。

東清掃工場は、年々し尿浄化槽が増えてきており、これに対処するため、浄化槽汚泥処理施設を設置し、さらに老朽化した同事務所を改築することにしています。西清掃工場は、し尿処理施設汚泥脱水機の入替工事や、ごみ処理施設の灰ピット上屋建築工事を行います。ごみ埋立地の整備では、南地区の内野二番町、内野町大学南ケ丘など二二・五㌶について基本計画を作成し、順次事業化をすすめていきます。そのほか、今年度に引き続き物見山・女池北・新崎土地区画整理事業も行います。

水道 南浜地区の給水工事に着手

南浜地区の未給水区域（約千五百戸、六千人）への給水を五十六年四月から開始するため、三か年継続で工事に着手します。これが完成しますと市内の上水道普及率は約百㌫になります。建設中だった水質管理センターが青山浄水場内に今秋完成します。検査機器を充実し、市民が安心して飲める水を供給します。

中小企業 農林水産

各種融資制度を充実

野菜安定供給対策を実施

大型店対策貸付金制度を新設

中小企業対策としては、融資制度の充実が中心になります。そのため新たに大型店対策資金貸付金制度を設けるほか、各種貸付金の原資の増を図ります。

大型店対策資金として七百万円を限度に長期低利で融資を行います。原資として一億円を用意、融資総枠は三億円となります。このほか、中小企業特別融資や緊急小口融資、地方産業育成資金、中小企業振興基金無担保無保証人融資などを各種貸付金の原資を三億八千六百万円増やし、総額で二十一億三千百万円としました。これによって融資総枠は八十六億円となります。

また、従来の市の制度融資を引き下げるとともに、原資の中に低利（四・五㌫）な条件の特別措置（倒産関連緊急特別措置貸付金）を設け、倒産組合員をかかえている鉄工関連組合に対する救済を行います。また、商店街の環境整備に対して一件五百万円を限度に補助します。

このほか、伝統産業育成指導のため、仏壇や漆器のコンクール・技術指導を行い、伝統産業を保護育成していきます。

さらに、中小企業従業員独立開業資金は、貸付金利百万円にします。融資総枠は二億一千三百万円となります。また、県労働者信用基金協会（労信協）へ三千万円を貸付、未組織労働者の生活の安定と福祉の向上を図ります。

今後の労働行政の基礎資料とするため、従業員五人以上の事業所を対象に労働基本調査を行います。

生活排水路 二万㍍を整備

農林水産業の振興については、生産基盤と生活環境施設の整備を中心に諸施策を講じています。

農林関係では、大江山地区を対象とした農村総合整備モデル事業の一環として三か年計画で農村環境改善センター（総事業費三億五千四百万円）の建設に着手します。

農村地域の生活環境を整備し、市街地との格差を是正するため、二億六千万円を投じて、生活排水路九千五百㍍を整備します。また、生産基盤整備のため、約一億六千万円をかけて農道や用排水路を整備します。

赤塚、内野地域を中心とする約六百㌶の砂丘地を有効に利用し、農家経営の安定を図るためその基盤である畑地の総合整備を推進します。

都市近郊農業推進協議会の中間答申に基づき、野菜価格の安定対策として、新たになす、きゅうり、カリフラワー、レタスの四品目を指定するほか、だいこん、キャベツについても安定事業を実施し、野菜の安定供給に努めます。

そのほか、都市化の著しい進展で開発が進み飛砂の害が発生している上新栄町から五十嵐浜の保安林を対象にかかる関屋新大橋（仮称）建設のための予算を二千万円計上し、新年度は新橋建設のためのボーリング調査、設計に着手します。また、万代橋の交通渋滞の緩和や新しい総合交通体系を検討するために、新たに計画調査費を計上しました。

都市基盤の整備

関屋新大橋の調査へ

信濃川架橋の調査費も

総合交通体系の確立へ

信濃川架橋調査費を計上しました。

新大周辺の〝学園都市づくり〟へ

区画整理事業では、五十嵐の新大周辺の〝学園都市づくり〟を計画し、新年度は南地区を整備するために大学南土地区画整理事業の調査が始まります。新大周辺では約百二十㌶の整備が必要ですが第一期工事として曽川公園、佐潟公園の七か所を新設するとともに、小公園二十か所、子どもの遊び場（借地公園）六か所を新設します。また、既設公園の整備として、じゅんさい池公園の用地買収や園路工事など、西海岸公園の野鳥の森、白山広場の整備などを行います。そのほか、辺では約百二十㌶の整備が必要ですが第一期工事として屋公園の整備も行います。

西大畑公園など公園七か所を新設

公園整備では、西大畑公園（旧刑務所跡地）の用地買収、寺尾公園、栗戸公園（寺尾）、石山谷内中公園、新潟ノ木川公園緑地、津島かしわ公園（紫竹石山）、

都市基盤の整備

〈駅南開発〉東側連絡通路 本体工事に着手

北陸自動車の一部開通や新幹線開通を間近にひかえ

新潟市では、機能的で、秩序ある快適な街づくりのために都市基盤の整備に新年度も力を入れていきます。

まず、駅南開発事業では駅南広場と一体的な街づくりを必要とするため、広場周辺街区（A・C1街区）の市街地再開発事業に着手します。

また、駅南広場改良事業では、南口広場築造に伴う国鉄施設移転の補償工事も行います。さらに、南北を結ぶ東側連絡通路については本体工事に入り、五十五年度中に供用開始をする計画になっています。西側連絡通路についても、通路および回廊の予備設計に着手します。

一方、南口広場や東側連絡通路建設などに伴い、新潟駅北口広場および周辺区のあり方についても検討するために調査を行い、五十四年度中に青写真を作る予定です。

流通センター本格的造成工事へ

流通センター事業では、事業地周辺の耕作地に支障を来たさないよう農業用施設の移設工事と造成工事のための仮設道路工事などの準備工事を新年度当初から行い、事業認可後は、地盤改良工事を始めとする本格的造成工事に着手します。

一方、国道一一六号線の渦川の用地立地が九月に埋立完了する予定です。赤塚の埋立地は、埋立完了区画（二万八千平方㍍）の被覆を行います。このほか、茗荷谷の私有地を借りて十月から埋立開始する予定で整備していきます。

また、依然として心ない人達による不法投棄が多くこのため、白勢町地内などの不法投棄物（約三百二十㌧）の整理を行い、不法投棄防止立札を設置します。

一一六号線のバイパス調査も

交通量の現況や流通センターに関連して、新潟西バイパス建設のための関連道路調査を実施します。